

浄化槽に関する調査研究助成年度別一覧

昭和62年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所属
No 1	コストアナリシスによる合併処理浄化槽の社会的効用に関する基礎的研究	松本 公男	国立公衆衛生院衛生工学部
No 2	浄化槽の放流同意の法的問題	阿部 泰隆	神戸大学
No 3	浄化槽におけるミジンコの異常発生防止に関する研究	須藤 隆一	国立公害研究所技術部
No 4	高度管理型浄化槽施設の開発に関する研究	津村 和志	京都大学工学部衛生工学科
No 5	膜分離法による生活排水の高度処理に関する基礎的研究	北尾 高嶺	豊橋技術科学大学第6工学系
No 6	生活環境系における病原微生物の制御に関する基礎的研究	大垣眞一郎	東京大学工学部都市工学科
No 7	合併処理浄化槽の施設改善による窒素、リンの高度処理技術の開発に関する研究	桜井 敏郎	神奈川県衛生研究所衛生工学部

※ 申請数36課題、内上記7課題採択。

昭和63年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所属
No 1	嫌気／好気ろ床法の負荷変動ならびにディスポーザ排水への耐性に関する生物工学的研究	岡田 光正	東京農工大学工学部
No 2	1) 浄化槽の発生臭気とその除去に関する研究	西田耕之助	京都大学工学部附属環境微量汚染制御実験施設
	2) 浄化槽による窒素、燐除去能の実態調査	松野 喜六	京都府衛生公害研究所環境衛生課
No 3	合併処理浄化槽における窒素、リン除去の性能向上に関する研究	中西 弘	山口大学工学部
No 4	浄化槽用微生物製剤の開発とその評価方法に関する研究	須藤 隆一	国立公害研究所技術部
No 5	浄化槽性能保全のための槽内等内視システムの開発に関する研究	武藤 暢夫	関東学院大学工学部
No 6	生活環境系における病原微生物の制御に関する基礎的研究	大垣眞一郎	東京大学工学部都市工学科
No 7	コストアナリシスによる合併処理浄化槽の社会的効用に関する基礎的研究	松本 公男	国立公衆衛生院衛生工学部
No 8	浄化槽への凝集剤添加による処理水質の改善と発生汚泥の処理・処分に関する研究	渡辺 義公	宮崎大学工学部

※ 申請数32課題、内上記9課題・8件採択。

平成元年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所属
No 1	浄化槽の挙動を記述する動的数値モデルの作成	鈴木 基之	東京大学生産技術研究所
No 2	嫌気・好気ろ床法による生活系排水処理における浄化機構に関する研究－懸濁	北尾 高嶺	豊橋技術科学大学工学部
No 3	回分式合併処理浄化槽の開発と処理性能向上に関する研究	中西 弘	山口大学工学部
No 4	浄化槽放流水と検査機関の精度管理について	中川 洋征	新潟県衛生公害研究所環境科学科
No 5	同上	石丸 尚志	愛媛県立衛生研究所
No 6	嫌気性(側床法)における嫌気性細菌のろ材への付着速度の増大に関する研究	野池 達也	東北大学工学部土木工学科
No 7	合併処理浄化槽に出現する大型障害無脊椎動物の異常増殖制御と浄化能の高度化に関する研究	須藤 隆一	国立公害研究所技術部
No 8	環境保全システムにおける浄化槽の水質改善効果の定量的評価に関する研究	齊藤 眞	国立公衆衛生院衛生工学部
No 9	遺伝子工学の研究手法を導入した高度処理浄化槽システムの開発研究	中村 玄正	日本大学工学部土木工学科
No10	合併処理浄化槽管理業務に対する公共関与のあり方についての研究	阿部 泰隆	神戸大学法学部

※ 申請数37課題、内上記10課題採択。

平成2年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所属
No 1	嫌気性細菌群のろ材への付着機構及び付着速度の増大に関する研究	野池 達也	東北大学工学部土木工学科
No 2	生活排水の回分式活性汚泥法による窒素、リンの同時除去について	福田 哲郎	山口県衛生公害研究センター
No 3	膜分離浄化槽を中心とした各戸家庭排水個別循環再生利用システムの開発研究	山本 和夫	東京大学工学部都市工学科
No 4	遺伝子工学の研究手法を導入した高度処理浄化槽システムの開発研究	中村 玄正	日本大学工学部土木工学科
No 5	界面活性剤添加による活性汚泥の油分分解能の効率化について	石川 宗孝	福井工業大学建設工学科
No 6	地域に適した小規模排水処理システム設計のためのアドバイザーリーシステムの開発に関する研究	岡田 光正	東京農工大学工学部
No 7	指定検査機関の精度管理について	野口 芳夫	(社)愛媛県浄化槽管理センター
No 8	合併処理浄化槽の機能と処理効果に関する研究	河村 清史	国立公衆衛生院衛生工学部

※ 申請数27課題、内上記8課題採択。

平成3年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所 属
No 1	浄化槽の挙動を記述する動的数値モデルの作成(2)ーリン除去の検討ー	鈴木 基之	東京大学生産研究所
No 2	膜分離浄化槽を中心とした各戸家庭排水個別循環再生利用システムの開発研究	山本 和夫	東京大学工学部都市工学科
No 3	中空糸膜を用いた膜分離活性汚泥法による浄化槽の開発	長岡 裕	武蔵工業大学工学部土木工学科
No 4	浄化槽の高度処理に関与する微生物の動態に関する基礎的研究	中村 玄正	日本大学工学部土木工学科
No 5	FRP材料中のき裂進展挙動に対する水環境の影響に関する研究	宗宮 詮	慶応義塾大学理工学部
No 6	浄化槽消毒薬剤の有効塩素濃度の消長について	吉野 邦治	(社)埼玉県環境検査研究協会
No 7	小型合併処理浄化槽における消毒装置の構造、機能の向上に関する研究	桜井 敏郎	神奈川県環境科学センター
No 8	スルファミン酸添加オルト・トリジンによる浄化槽放流水の残留塩素測定方法の改善について	栗原 羊一	(財)福岡県浄化槽協会

※ 申請数29課題、内上記8課題採択。

平成4年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所 属
No 1	生物ろ過処理法に関する基礎的検討	岡田 光正	広島大学工学部
No 2	下水道整備と浄化槽整備の水環境への影響の比較研究	和田 安彦	関西大学工学部
No 3	閉鎖性水域における水質保全の観点から要求される浄化槽の役割	市川 新	東京大学工学部
No 4	生活排水の浄化処理過程に関する研究	北原 節子	大妻女子大学社会情報学部
No 5	浄化槽汚泥のコンポスト化及び施用方法に関する研究	森 忠洋	島根大学農学部
No 6	浄化槽法第7条検査の効果ある実施方法について	平田 安則	(社)兵庫県水質保全センター
No 7	浄化槽維持管理システムにおける経済性に関する研究	河村 清史	国立公衆衛生院廃棄物工学部

※ 申請数45課題、内上記7課題採択。

平成5年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所 属
No 1	排泄物および浄化槽内の微生物叢検索とその浄化機能解析	中井 裕	東北大学農学部
No 2	環境抵抗性ウイルスの浄化槽での動態	山浦 煌一	日本大学農獣医学部
No 3	合併処理浄化槽設置促進のための行財政システムの研究	安田八十五	筑波大学社会工学系
No 4	FRP製浄化槽構造設計システムの開発	邊 吾一	日本大学生産工学部
No 5	嫌気・好気回分式活性汚泥法の小型計算機制御のための数値モデル	今井 弘	北海道大学工学部
No 6	浄化槽の使用による住民の環境意識変化について	小林 定教	福山大学工学部
No 7	浄化槽処理水の塩素消毒による影響	滝野 右人	(社)石川県浄化槽協会

※ 申請数40課題、内上記7課題採択。

平成6年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所 属
No 1	生物処理法のトリハロメタン生成能に関する研究	岡田 光正	広島大学工学部
No 2	浄化槽の法定検査における諸問題の事例研究	阿部 重喜	山形大学工学部
No 3	浄化槽での効率的油分分解微生物の検索	白神 直弘	東京工業大学生命理工学部
No 4	環境抵抗性ウイルスの浄化槽での動態	山浦 煌一	日本大学農獣医学部
No 5	浄化槽処理水中の残存臭気物質の低減に関する研究	花木 啓祐	東京大学工学部
No 6	生活排水等による有機ハロゲン化合物生成能試験と生成物の毒性評価に関する研究	竹田 茂	神奈川県衛生研究所
No 7	寒冷地における小型合併処理浄化槽の機能について	大倉 直光	(社)北海道浄化槽協会

※ 申請数28課題、内上記7課題採択。

平成7年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所 属
No 1	浄化槽用環境バイオセンサーシステムの開発	民谷 栄一	北陸先端科学技術大学院大学
No 2	地球環境時代における合併処理浄化槽システムの位置づけに関する研究	加藤 三郎	環境・文明研究所
No 3	有用微小動物輪虫類の高密度化による浄化槽の機能の高度効率化	林 紀男	千葉県立中央博物館
No 4	浄化槽検査におけるリンなどの簡易測定手法の開発	阿部 重喜	山形大学工学部
No 5	環境抵抗性ウイルスの浄化槽での動態	山浦 煌一	日本大学農獣医学部
No 6	単独から合併処理浄化槽へ付け換える際の使用者からみた問題点	小林 定教	福山大学工学部
No 7	一般下水を用いた活性炭活性汚泥法の研究	坂井 正明	テクノポート福井浄化センター
No 8	群馬県における法定検査結果のデータ解析報告	小林 幸夫	財団法人群馬県環境検査事業団

※ 申請数41課題、内上記8課題採択

平成8年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所 属
No 1	浄化槽汚泥の高品質コンポスト化技術の開発	茅野 充男	東京大学大学院農学生命科学研究科
No 2	浄化槽による生活廃水処理対策の有効性とその評価法に関する研究	細井 由彦	鳥取大学工学部
No 3	浄化槽汚泥の有効利用に関する研究（肥料化に関する研究）	菅 健一	大阪大学保全科学研究センター
No 4	理容業および美容業と併用する小型合併処理浄化槽の実態調査	長坂 実上	茨城大学工学部
No 5	凝集と同時に粒子の移送が可能となる音波を用いた処理システムの開発	上羽 貞行	東京工業大学精密工学研究所
No 6	回分型処理施設における栄養塩類除去の過渡特性のモデル解析	古米 弘明	茨城大学工学部
No 7	浄化槽管理システムの構築	宮西 豊	富山県生活環境部環境政策課
No 8	生活排水に含まれる各種化学物質の浄化槽に出現する微小動物に及ぼす影響	西村 修	国立環境研究所
No 9	小型合併処理浄化槽の現状および使用実態と処理機能に関する調査	清間 良之	社団法人島根県浄化槽協会

※ 申請数31課題、内上記9課題採択

平成9年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所 属
NO 1	合併処理浄化槽処理水の再利用に関する研究《指定課題》		
	1) 合併処理浄化槽処理水の再利用に関する研究	西村 和之	豊橋技術科学大学建設工学系
	2) 合併処理浄化槽処理水の健康影響に基づいた水質評価と再利用用途の解析	内海 英雄	九州大学薬学部
NO 2	合併処理浄化槽処理水の再利用に関する研究《指定課題》		
	1) 合併処理浄化槽処理水の再利用に関する研究 - O157等の病原性大腸菌防御を目的とした処理水の安全性評価 -	竹田 茂	神奈川県衛生研究所生活環境部
	2) 紫外線消毒処理水の再利用における病原微生物の光回復に関する研究	土佐 光司	麻布大学環境保健学部
	3) 小型合併処理浄化槽におけるCryptosporidium の挙動に関する基礎研究	伊与 亨	北里大学医療衛生学部
NO 3	エアレーション不要・余剰汚泥生成ゼロを目指した新規生活排水処理技術の開発	大橋 晶良	長岡技術科学大学工学部
NO 4	途上国における浄化槽処理水再利用の安全性に関する研究	北脇 秀敏	東洋大学国際地域学部
NO 5	合併浄化槽の生物処理に貢献する有用微小動物の役割と収率解明に関する研究	藤本 尚志	東京農業大学工学部
NO 6	合併浄化槽に流入する生活排水に含まれる各種界面活性剤の浄化槽生物に及ぼす影響	山田 一裕	東北大学工学部
NO 7	接触材を設置した浄化槽の最適設計操作条件解明に関する研究	西村 文武	愛媛大学工学部
NO 8	小型合併処理浄化槽の窒素除去機能の向上を目的とした維持管理技術に関する研究	大桃 政春	新潟県浄化槽団体協議会

※ 申請数29課題、内上記11課題・8件採択

平成10年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所 属
NO 1	浄化槽処理水の消毒に関する研究《指定課題》		
	1) フィールドにおける浄化槽の塩素消毒の実態と浄化槽法第11条検査の推進を取組み、消毒剤の検討と装置の改善実態	立花 俊治	兵庫県加西保健所
	2) 浄化槽処理水の消毒に関する研究	井口 直幸	社団法人兵庫県水質保全センター
NO 2	腐植土を用いた汚水処理法の設計手法の確立	金成 英夫	国士館大学工学部
NO 3	浄化槽に出現する微小動物の増殖特性に及ぼす相互作用の影響	須藤 隆一	東北大学大学院
NO 4	個別処理浄化槽の面整備による生活排水の処理とその効果		
	1) 小型合併処理浄化槽の処理性能、維持管理法、維持管理体制に関する検討	山本 康次	大阪府立公衆衛生研究所
	2) 分散型処理導入の地域条件と経済性の検討	河合 茂	大阪府保健衛生部環境衛生課
	3) 小型合併処理浄化槽の面整備における環境影響評価	藤本 久夫	大阪府茨木保健所
NO 5	担体付着微生物の処理特性に及ぼす表面流速の影響に関する研究	西村 文武	愛媛大学工学部
NO 6	水質悪化の原因究明に関する考察	幸泉 有里	社団法人徳島県環境技術センター

※ 申請数24課題、内上記9課題・6件採択

平成11年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所 属
NO 1	合併処理浄化槽に関する社会科学的評価(環境管理経済等)について《指定課題》		
	合併処理浄化槽の面整備における経済性評価と一元的情報管理の社会的活用および環境への影響調査(共同研究)		
	1) 合併処理浄化槽の面整備における経済性評価と一元的情報管理の試験的運用と評価	山本 康次	大阪府立公衆衛生研究所
	2) 面整備された窒素除去型小型合併処理浄化槽の処理性能と地域環境に与える影響に関する検討	藤本 久夫	大阪府茨木保健所
NO 2	繊維状活性炭に担持した二酸化チタン光触媒脱臭システムの開発	細見 正明	東京農工大学
NO 3	浄化槽放流水の土壌浸透処理に伴う窒素除去に関する研究	鈴木 富雄	長野県公害研究所
NO 4	浄化槽におけるCryptosporidiumの除去およびその消長に関する実験的研究	伊与 亨	北里大学医療衛生学部
NO 5	高度処理型浄化槽の機能調査及び従来型小型合併処理浄化槽との比較	坂元 修一	(社)鹿児島県環境保全協会

※ 申請数20課題、内上記6課題・5件採択

平成12年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所 属
No 1	浄化槽の経済性評価	鈴木 利治	東洋大学経済学部
No 2	分子生物学的手法による浄化槽の評価技術の確立	常田 聡	早稲田大学理工学部
No 3	浄化槽消毒処理水の安全性評価に関する研究	伏阪 裕一	神奈川県衛生研究所
No 4	浄化槽におけるCryptosporidiumの除去およびその消長に関する研究	伊与 亨	北里大学医療衛生学部
No 5	焼成火山灰土壌を用いた生活排水からのリン酸の除去	三谷 知世	国立東京工業高等専門学校
No 6	超音波により汚泥界面を測定する場合の最適な周波数について	稲村 成昭	社団法人岩手県浄化槽協会
No 7	法定検査における新たな水質検査項目による水質評価	入江 俊明	社団法人栃木県浄化槽協会

※ 申請数21課題、内上記7課題採択

平成13年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所 属
No 1	鉄導入型ハイドラタルサイトによる浄化槽処理水からの窒素・リン同時 除去の確立	佐藤 利夫	島根大学生物資源科学部
No 2	中国での適用を想定した中小規模生活排水処理システムの開発	河村 清史	埼玉県環境科学国際センター
No 3	天然女性ホルモン及び合成女性ホルモンの微生物分解	中井 智司	東京農工大学工学部
No 4	浄化槽による都市排水路の大腸菌汚染に関する調査・研究	増田 純雄	宮崎大学工学部
No 5	持続的な水利用・管理にあたっての利害関係者・アプローチ手法の研究	国包 章一	国立公衆衛生院
No 6	ファジィ機能診断を活用した合併処理浄化槽での新たな維持管理方法の 試み	岩堀 恵祐	静岡県立大学環境科学研究所

※ 申請数14課題、内上記6課題採択

平成14年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所 属
No 1	山岳地域対応の高性能し尿処理装置(SAT法)の改良・開発に関する研究	鈴木 富雄	長野県衛生公害研究所
No 2	分子生物学的手法を用いた処理施設および放流河川におけるし尿由来の病原微生物の追跡調査 担体流動・生物ろ過方式の容積比率の最適化に関する研究	岡部 聡 江成 敬次郎	北海道大学大学院工学研究科 東北工業大学
No 4	浄化槽放流水に含まれるエストロゲンの実態調査およびその除去法の検討	鈴木 祥広	宮崎大学工学部
No 5	合併処理浄化槽における環境ホルモン様物質の動態調査	岩堀 恵祐	静岡県立大学環境科学研究所
No 6	中国での適用を想定した中小規模生活排水処理システムの開発(継続)―システムの完成と運用	河村 清史	埼玉県環境科学国際センター
No 7	南極遠征隊での利用を目的とした微生物処理型小型自立浄化施設の開発に関する研究	木村 茂雄	神奈川工科大学 工学部
No 8	活性汚泥性状の把握に立脚した膜分離浄化槽の効率的操作法の設計	入谷 英司	名古屋大学大学院
No 9	窒素除去型膜分離リアクターの膜目詰まり過程のモデル化と膜洗浄予測エキスパートシステム	長岡 裕	武蔵工業大学

※ 申請数34課題、内上記9課題採択

平成15年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所 属
No 1	合併処理浄化槽における環境ホルモン様物質の汚泥吸着とその微生物分解に関する調査研究	岩堀 恵祐	静岡県立大学環境科学研究所
No 2	南極遠征隊での利用を目的とした微生物処理型小型独立浄化施設の開発に関する研究(継続)	木村 茂雄	神奈川工科大学
No 3	山岳地域対応のし尿処理装置(SAT法)の実証及び窒素除去に関する改良・開発研究	鈴木 富雄	長野県衛生公害研究所
No 4	窒素除去を目的とした合併浄化槽設置10年後の機能評価に関する研究	市川 新	福岡大学大学院
No 5	前凝集処理と生物ろ過によるコンパクトな生活排水処理法の開発	津野 洋	京都大学大学院
No 6	バイオマス資源としての浄化槽汚泥等の利用可能性に関する研究	三浦 秀一	東北芸術工科大学

※ 申請数32課題、内上記6課題採択

平成16年度

番号	研究及び調査題目	研究代表者	所 属
No 1	腸球菌を新たな指標とした小型合併処理浄化槽での糞便汚染評価手法の提案	岩堀 恵祐	静岡県立大学環境科学研究所
No 2	浄化槽最適設計のための硝化細菌モニタリング手法の開発	金田一智規	広島大学大学院 工学研究科
No 3	自然公園における浄化槽の設置および維持管理のための合理的費用負担制度に関する研究	加藤 峰夫	横浜国立大学大学院 国際社会科学部研究科
No 4	浄化槽の排出負荷原単位の整備	田中 恒夫	前橋工科大学 工学部建設工学科
No 5	各種生物浄化資材の一斉比較による費用対効果の比較検討	高尾 雄二	長崎大学 環境科学部
No 6	処理水放流水路の付着性糸状藻類のエストロゲン活性低減化処理への利用に関する研究	中野 和典	東北大学大学院 工学研究科
No 7	代謝工学を基盤としたバイオスティムレーション法による浄化槽の排水処理能力向上に関する研究	星野 一宏	富山大学 工学部

※ 申請数22課題、内上記7課題採択

平成17年度

申請No.	課 題	研究代表者	所 属
No 1	担体投入型一槽式膜分離生物処理法の開発	小松 俊哉	長岡技術科学大学 環境・建設系
No 2	溶存酸素濃度制御による膜分離活性汚泥法のファウリング抑制に関する研究	長岡 裕	武蔵工業大学
No 3	高効率窒素除去を可能にする仕切板挿入型膜処理浄化槽の最適化に関する研究	木村 克輝	北海道大学大学院 工学研究科環境創生工学専攻
No 4	糸島地域の水循環・水環境に対する浄化槽の影響に関する検討とその将来予測	久場 隆広	九州大学大学院 工学研究院環境都市部門
No 5	浄化槽市町村整備推進事業の進捗による地域水環境の改善効果と住民の評価	山本 康次	大阪府立公衆衛生研究所
No 6	浄化槽に由来する環境堆積負荷量の推定手法と適用に関する研究	市木 敦之	立命館大学理工学部 環境システム工学科

※ 申請数25課題、内上記 6 課題採択

平成18年度

申請No.	課 題	研究代表者	所 属
No 1	膜通気による余剰汚泥の原位置好氣的消化	山際 和明	新潟大学大学院 自然科学研究科
No 2	廃食用油分解菌を利用した微生物製剤の開発	田中 大祐	富山大学 理学部生物圏環境科学科
No 3	人口減少が進む中山間地の汚水処理施設整備における浄化槽の意義	細井 由彦	鳥取大学
No 4	公共用水域に流入する1人あたり汚濁負荷量と生活排水の環境家計簿に関する研究	都筑 良明	島根大学 汽水域研究センター
No 5	バイオマス系ポリマー発泡体を利用した新規水質浄化法の探索	山口 政之	北陸先端科学技術大学院大学 マテリアルサイエンス研究科
No 6	合併浄化槽中のエストロゲンとアンドロゲンの挙動と合併浄化槽の処理性能評価について	篠原 亮太	熊本県立大学 環境共生学部

※ 申請数17課題、内上記 6 課題採択

平成19年度

申請No.	課 題	研究代表者	所 属
No 1	合併処理浄化槽における医薬品類の除去特性の評価	古米 弘明	東京大学大学院 工学系研究附属水環境 制御研究センター

※ 申請数15課題、内上記 1 課題採択

平成20年度

申請No.	課 題	研究代表者	所 属
No 1	浄化槽中からのアルミニウム系吸着剤によるりん酸の連続回収に関する研究	川崎 直人	近畿大学 薬学部
No 2	浄化槽放流水のサンプリング精度と効率に関する研究	吉野 邦治	社団法人 埼玉県環境検査研究協会

※ 申請数22課題、内上記 2 課題採択

平成21年度

申請No.	課 題	研究代表者	所 属
No 1	好気性汚泥消化法を適用した小容量型浄化槽の開発に関する研究	木曾 祥秋	豊橋技術科学大学 エコロジー工学系
No 2	高度処理を備えた合併浄化槽から放出される亜酸化窒素(温室効果ガス)の削減技術に関する研究	清家 泰	島根大学 総合理工学部

※ 申請数18課題、内上記 2 課題採択

◎ 過去22年間（昭和62年度～平成21年度）申請総数639課題、内助成総数158課題。